



佐野 詩音

2022年入庁

教育委員会

文化財課

Q 1. 志望動機は？

歴史に関わる職に就きたいと思い、大学では文化財学科に進学しました。在学中に自治体の埋蔵文化財の発掘調査に参加し、そこで先輩職員の文化財行政に対する姿勢に憧れて、自治体の職員として文化財に幅広く関わりたいと考えるようになりました。生まれ育った奈良県で就職したいと思っていた矢先、宇陀市の自然の豊かさや文化に心惹かれ、志望しました。

Q 2. 担当業務は？

現在は文化財課の学芸員として、埋蔵文化財の発掘をはじめ、国の天然記念物オオサンショウウオの調査や、展示会の企画・パンフレット作製、国・県の文化財補助事業の事務など、様々なことに携わっています。

Q 3. やりがいについて

市民の方や、学生さんから市内の文化財に関する問い合わせをいただくことがあります。自分なりに調べて回答し、メールやお手紙でお礼をいただけたとき、嬉しく思います。また、調べたことで自分の知識を深めることもできるので、とてもやりがいです。

Q 4. 市職員のイメージは？

学芸員という仕事柄、現場に出ることの方が多いと思っていましたが、事務処理や窓口での対応も多く、一日中パソコンの前にいることもよくあります。また、先輩後輩の距離が近く、気になっていることや困っていることを相談しやすいと感じます。

Q 5. 受験者に向けて

面接はもちろん、小論文やグループディスカッションでは、自分の専門外の事について問われることがあります。企業説明会の積極的な参加や、自治体の施策・計画を確認し、志望する自治体の強みや課題点などについて、項目だててまとめることが大切だと思います。

みなさんへひとこと！

まずはぜひ、宇陀市に足を運んでいただければと思います。お待ちしております。